

平成28～31年度使用中学校用教科用図書「選定及び採択した理由」

第23採択地区教科用図書採択協議会

第23採択地区教科用図書協議会では、協議の結果、以下の理由で教科用図書を選定しました。また、上記の結果に基づき、三郷市、八潮市、吉川市の各教育委員会は、以下の理由で教科用図書を採択しました。

種目	発行者	選定及び採択の主な理由
国語	光村図書出版	「学習の見通しをもとう」では、身につける力を領域ごとに示し、生徒に学習の見通しをもたせる工夫がされている。 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元では、生徒が、留意すべきポイントが明確に示されている。 国語科の学習と、他教科の学習や言語生活との関係を明確に示し、生きて働く国語の力を育成するよう図っている。
書写	光村図書出版	手紙やのし袋、ポスターの書き方等、生活の中での様々な場面での文字の使い方(楷書、行書、書体)について触れている。 基礎編、学習編、資料編と構成され、段階的な学習が可能になっているなど、主体的に学習に取り組む工夫がなされている。 全体的に落ち着いた色合いであり、手本の文字が美しい。写真や図を多用しており、視覚で捉えながら学習できる。
社会(地理)	帝国書院	日本や世界の地域の事象を、環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色をとらえられるようにしている。 地理の基礎・基本となる地形や気候など自然環境の学習ができるように、地図や写真などの資料を豊富に掲載している。 蝦夷地の開拓や世界の宗教と生活、国際社会への貢献など、歴史的な分野や公民的分野との関連を図っている。
社会(歴史)	東京書籍	我が国の歴史を尊重する態度を育てるために、伝統の中で生まれてきた国宝などの文化遺産が多く取り上げられている。 各時代の学習を、「概観をイメージする導入部」「通史を学習する展開部」「特色をまとめる終結部」で構造化している。 「この時代の特色をとらえよう」を設け、多様な言語活動によって、時代の特色をとらえられるようにしている。
社会(公民)	東京書籍	○我が国や世界が抱える諸課題について考察し、多面的な判断力、豊かな表現力が身に付けられるようになっている。 ○見開きごとに短時間で取り組める言語活動を設け、思考・判断した内容を、適切に表現する力が身に付く構成である。 ○見開き1単位時間の紙面が「導入」「課題」「本文」「確認」の流れで構造化され、学習内容が定着しやすい。
社会(地図)	帝国書院	○鳥瞰図など、多様な資料を用いて、広い視野から地理的特色を考察、理解するようになっている。 ○社会科地図帳として、歴史や公民分野でも活用できるよう、記載内容を工夫したり、関連資料が掲載されたりしている。 ○地図帳に興味・関心を持って活用し、基礎・基本となる知識や幅広い教養が身に付けられるように工夫されている。
数学	東京書籍	身近な題材で、多様に考え、説明したりまとめたりする活動場面から思考力・表現力を高めるように構成されている。 「学び合い」のページでは、自力解決と比較検討できる工夫があり、問題解決の進め方が身につく構成である。 活動のねらいが明確に分かる工夫や、学習の進め方・ノート記述例が示され、主体的な学習が展開できる構成である。

理科	学校図書	「説明してみよう」で学習したことをもとに考え、生徒の思考力や表現力を高めるような構成になっている。 単元のはじめに「これまでに学んできたこと」「これから学ぶこと」が掲載され、単元全体の見通しが確認できる。 単元末には職業との関わりを掲載し、生徒に学習する目的や意識を持たせる工夫をしている。
音楽 (一般)	教育芸術社	音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるために、「知覚・感受」を促し、理解、認識へと学習を深める工夫が見られる。 各教材に「学習の目標」と「目標に迫るための学習活動」が明示されるなど、指導内容の明確化が図られている。 言語活動を意図したワークシート欄も盛り込まれ、多様な音楽学習の展開に役立てられている。
音楽 (器楽)	教育芸術社	音楽文化への理解を深めるために、和楽器を数多く取り上げそれらの実践的な内容についてきめ細かく記されている。 基礎的な奏法が数多く示され、的確な写真や理解を促す絵が巧みに使用されるなど、理解しやすい構成になっている。 巻末の日本伝統音楽の音楽編成や多様なイラストなど、さまざまな工夫が生徒の心情と感性を育む手だてとなっている。
美術	開隆堂出版	小・中・高の学習の連携を考え、中学校段階の感性や各種能力の発達に対応する系統的な題材が幅広く配列されている。 各題材の目標や活動の見通しと振り返りを示すことで主体的な制作や学習内容の定着が図られるよう工夫されている。 題材に関連する基礎的・基本的な技法や知識・情報、多くの生徒作品が掲載されている。
保健体育	学研教育 みらい	単元末に「章のまとめ」を設け、学習をフィードバックした知識や用語の確認を行うことができるようになっている。 各時間に「活用しよう」または「実習」があり、思考力・判断力・表現力などの活用する力を育めるようになっている。 「もっと広げる深める」「探求しようよ!」「資料」では、発展的な学習が展開できる構成となっている。
技術・家庭 (技術)	開隆堂出版	生活と技術との関わりについて理解を深めるために、具体的な課題を示し、学習に取り組めるようになっている。 生徒が興味・関心等に応じた学習を進めるため「調べてみよう」「考えてみよう」や、「発展」の欄が設けられている。 学習内容ごとに「学習の目標」から「ふり返し」までがひとまとまりとして構成されている。
技術・家庭 (家庭)	開隆堂出版	生活と技術を関連させるために「課題」や「探求」を設け、生活と技術について広い視点で考えることができる。 全体を見通して主体的に学習に取り組むために、巻頭で4つの領域についてガイダンス的な内容を入れている。 「学習の目標」を明記し、学習のまとめごとに「ふり返し」欄を設け、まとめや自己評価をさせるようになっている。
外国語 (英語)	学校図書	具体的な言語の使用場面を設定し、会話形式の活動を多く設定することで、4技能の基礎の育成を目指した配慮がある。 各Chapterで扱う言語材料や目標が示されており、生徒自身が身に付けるべき内容をイメージして学習に取り組める。 1年生の学習が一般動詞から導入されることで、1年生のうちから多様な自己表現活動を可能にしている。